

令和6年度

発行日 令和6年6月30日

## 《民俗芸能情報提供》 7月～9月

3ヶ月に1回 会員向け発行 団体・個人の入会 随時受付中  
 神奈川県民俗芸能保存協会事務局 [kanagawa@minzokugeinou.com](mailto:kanagawa@minzokugeinou.com)  
 <協会ウェブサイト(作成中)> <https://minzokugeinou.com/>  
 <民俗芸能情報の受け入れ窓口> [kanagawa@minzokugeinou.com](mailto:kanagawa@minzokugeinou.com)  
 <民俗芸能情報収集・作成担当者> (スタッフ募集中)  
 県西地域 柏木 勤  
 県北地域 平本元一  
 県央地域 垣澤 勉、中島裕子  
 湘南地域 松岡敬介  
 県東地域 飯島重一、吉澤幸治、高久 舞、金子隆一  
 各地域 神奈川県、各市町村民俗芸能担当の皆さん  
 箱根町、小田原市、川崎市、三浦市、横浜市、横須賀市、鎌倉市、厚木市  
 相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、山北町、座間市、秦野市、南足柄市、平塚市  
 寒川町、海老名市、大磯町、大和市、綾瀬市、伊勢原市、茅ヶ崎市、愛川町  
 <民俗芸能情報印刷・配送担当者> (スタッフ募集中)  
 吉澤幸治、八木秋夫、平本元一、柏木 勤、雨宮真樹、飯島重一

※詳細につきましては、各問い合わせ先にご確認下さい。

※指定・選択区分記号凡例

(大会等で複数の公演を行う場合は、記号を記載していません場合があります。)

- (A) 国指定重要無形民俗文化財 (B) 国選択無形民俗文化財
- (C) 神奈川県指定無形民俗文化財 (D) 神奈川県選択無形民俗文化財
- (E) 市町村指定無形民俗文化財、市町村認定無形民俗文化財

月 日	民俗芸能等の名称	場 所
7月7日(日)	第58回夕日の滝びらき (B) (C) (足柄ささら踊保存会)	夕日の滝広場 (南足柄市)
	祇園舟 (E)	富岡八幡宮 (横浜市)
7月9日(火)	天王祭 三ツ目神楽 (E)	瀬戸神社境内 (横浜市)
7月13日(土)	相模原市博物館プラネタリウム 相模里神楽垣澤社中 「神話から見る神々の世界」 (E)	相模原市立博物館 特別展示室 (相模原市)
7月13日(土) 7月14日(日)	江の島囃子祭 (八坂神社天王祭) (C) (E)	藤沢市江の島・鎌倉市腰越周辺 江島神社 (藤沢市、鎌倉市)
	根府川寺山神社の鹿島踊り (C)	寺山神社境内 (小田原市)
	海南神社夏例大祭 (E)	海南神社及び三崎港周辺 (三浦市)

神奈川県民俗芸能保存協会

7月13日(土) ～9月8日(日)	相模原市博物館・民俗企画展 「上溝番田の神代神楽」	相模原市立博物館 特別展示室 (相模原市)
7月14日(日)	お礼まき (E)	八坂神社境内 (横浜市)
	仙石原天王祭 (箱根の湯立獅子舞) (A)	諏訪神社 (仙石原) 境内ほか (箱根町)
	三増の獅子舞 (C)	諏訪神社 (愛川町)
	佐島の御船歌 (E)	熊野神社他 (横須賀市)
	厚木神社例大祭 厚木ばやし保存会	厚木神社 (厚木市)
	福田神社囃子獅子舞 (E)	福田神社 (大和市)
	南湖麦打唄 (E)	八雲神社境内 (茅ヶ崎市)
7月15日(月) (祝日)	宮城野天王祭 (箱根の湯立獅子舞) (A)	諏訪神社境内 (宮城野) (箱根町)
	御幣参り	茅ヶ崎市南湖地区内 (茅ヶ崎市)
	浜降祭 (C)	茅ヶ崎市南湖 茅ヶ崎海岸西浜 (茅ヶ崎市)
7月15日(月・祝) ～7月21日(日)	白旗まつり (白旗神社例大祭)	白旗神社 (藤沢市)
7月20日(土)	南山田の虫送り (E)	山田神社～夏みかん公園 (横浜市)
7月20日(土) 7月21日(日)	武八坂神社夏祭り 下武の獅子舞	武会館前広場 (横須賀市)
	行合い祭り (山ノ内八雲神社例大祭)	八雲神社 (鎌倉市)
7月21日(日)	禰宜舞 (E)	白幡八幡大神拝殿 (川崎市)
	長井の祭木遣り唄	第六天神社、井尻町内 (横須賀市)
	金田八坂神社・走湯神社の祭り (担ぎ屋台)	走湯神社周辺 (三浦市)
7月24日(水)	第46回相模ささら踊り大会 (B)(C)	荻野運動公園 (厚木市)
7月26日(金) 7月27日(土)	辻堂諏訪神社人形山車 (E) (辻堂諏訪神社例大祭)	諏訪神社 (藤沢市)
	貴船神社の船祭り (A)	真鶴港及び町内 (真鶴町)
7月27日(土)	上宮田諏訪神社の祭り	諏訪神社周辺 (三浦市)
7月27日(土) 7月28日(日)	藤沢宿・遊行の盆	藤沢駅北口ミナパーク前周辺 清浄光寺 (遊行寺) (藤沢市)
	田村ばやし (E) (田村八坂神社例大祭)	田村八坂神社 (平塚市)
7月31日(水) 8月1日(木)	鈴鹿明神社例大祭 7月31日(宵宮祭) 8月1日(例大祭)	鈴鹿明神社、入谷地区一帯 (座間市)

8月1日(木) ～4日(日)	<b>川崎山王祭りの宮座式 (D)</b> <b>川崎山王祭*宮座式は原則非公開</b>	稲毛神社 (川崎市)
8月2日(金) 8月3日(土)	<b>西小磯の七夕 (B) (C)</b> (西小磯西地区)	西小磯西・老人憩いの家(大磯町)
8月2日(金) ～4日(日)	<b>関の首長囃子 (青山神社例大祭)</b>	青山神社、関地区内 (相模原)
8月3日(土)	<b>長徳寺盆踊り</b>	長徳寺 (相模原市)
8月3日(土)	<b>お馬流し (C)</b>	本牧神社および本牧漁港 (横浜市)
8月4日(日)	<b>新田名音頭</b>	田名中学校校庭 (相模原市)
	<b>小向の獅子舞 (C)</b>	小向会館、八幡大神 (川崎市)
8月6日(火) 8月7日(水)	<b>西小磯の七夕 (B) (C)</b> (西小磯東地区)	大磯町西小磯東 西小磯東老人憩いの家 (大磯町)
8月10日(土)	<b>鳥屋の獅子舞 (C) (E)</b>	諏訪神社境内 (相模原市)
-	<b>根岸の榊神輿 (E)</b> ※今年神輿は出ません	根岸町、根岸八幡神社 (横浜市)
8月16日(金)	<b>遠藤ささら踊り (C)</b>	宝泉寺 (藤沢市)
	<b>箱根強羅の大文字焼き</b>	強羅全域 (箱根町)
	<b>三戸のオショロ(お精霊)流し (A)</b>	三戸海岸 (三浦市)
8月17日(土)	<b>鵜沼皇大神宮人形山車・湯華神楽 (E)</b> <b>(鵜沼皇大神宮例大祭)</b>	鵜沼皇大神宮 (藤沢市)
8月18日(日)	<b>相原八幡宮例大祭</b> <b>相模里神楽垣澤社</b> <b>神前舞奉納 (E)</b>	相原八幡宮拝殿 (相模原市)
	<b>相原諏訪神社例大祭</b> <b>相模里神楽垣澤社中</b> <b>神前舞奉納 (E)</b>	相原諏訪神社拝殿 (町田市)
	<b>鎌倉神楽 (下山口神明社例大祭)</b>	下山口神明社 (葉山町)
8月24日(土) 8月25日(日)	<b>世計り神事 (E)</b>	森山神社 (葉山町)
8月25日(日)	<b>大島諏訪明神の獅子舞 (C) (E)</b>	大島諏訪明神 (相模原市)
8月25日(日) 8月27日(火)	<b>西富ばやし (E)</b> <b>(大鋸諏訪神社例大祭)</b>	大鋸諏訪神社、遊行寺、 遊行通り、藤沢駅周辺 (藤沢市)
8月26日(月)	<b>下九沢御嶽神社の獅子舞 (C) (E)</b>	下九沢御嶽神社 (相模原市)
8月28日(水)	<b>大山阿夫利神社の倭踊・巫女舞(C)</b>	大山阿夫利神社 (伊勢原市)
8月31日(土)	<b>葛原ささら踊り (C)</b> <b>(皇子大神例大祭)</b>	皇子大神境内 (藤沢市)

神奈川県民俗芸能保存協会

9月1日(日)	汐祭り ※予定	野島・金沢漁港 (横浜市)
	田名八幡宮の獅子舞 (E)	田名八幡宮 (相模原市)
-	栗原神社祭礼 ※未定	栗原神社 (座間市)
9月7日(土) 9月8日(日)	薬王院双盤念仏 (E)	薬王院 (大和市)
	葉山森戸大明神例大祭	森戸神社 (葉山町)
	川名屋台ばやし (E)	御霊神社 (藤沢市)
9月8日(日)	第53回足柄峠笛まつり (足柄ささら踊保存会による踊り) (B) (C) (内山剣舞おどり保存会による踊り) (D) (E)	足柄峠広場 (静岡県駿東郡小山町)
	宮尾神社例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞奉納 (E)	八王子宫尾神社「拝殿」 (八王子市)
9月9日(月)	極楽寺熊野新宮・鎌倉神楽	極楽寺熊野新宮 (鎌倉市)
9月12日(木)	龍口寺法難会	龍口寺 (藤沢市)
9月13日(金) ～15日(日)	お三の宮祭礼	お三の宮日枝神社 (横浜市)
9月14日(土)	熊野神社例大祭 厚木ばやし保存会	熊野神社境内 (厚木市)
	菅の獅子舞 (C)	子之神社、菅薬師堂 (川崎市)
-	三溪園「観月会」 ※未定	三溪園 (横浜市)
9月14日(土) 9月15日(日)	踊り念仏(秋季開山忌)	清浄光寺(遊行寺) (藤沢市)
	圓蔵祭囃子 (E)	円蔵神明大神宮 (茅ヶ崎市)
9月15日(日)	禰宜舞 (E)	白幡八幡大神拝殿 (川崎市)
	亀ヶ池八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中 神前舞と神楽奉納公演 (E)	亀ヶ池八幡宮「拝殿・神楽殿」 (相模原市)
9月18日(水)	御霊神社の面掛行列 (C) 鎌倉神楽 (E) 天王唄、鎌倉囃子	御霊神社 (鎌倉市)
9月25日(水)	山崎北野神社・鎌倉神楽※神事のみ	山崎北野神社 (鎌倉市)
9月27日(金) 9月28日(土)	四之宮前鳥神社例大祭 前鳥囃子・麦振舞神事・神輿宮入り 神事 (E) 相模人形芝居前鳥座 (C)	前鳥神社 (平塚市)
	熊野神社例大祭 相模里神楽垣澤社中 神楽奉納公演 (E) ※予定	熊野神社「神楽殿」 (厚木市)
9月29日(日)	曾我別所壽獅子舞 (E)	宗我神社神楽殿 (小田原市)

## 〈7月〉

### ● 第58回夕日の滝びらき（足柄ささら踊保存会による踊り）（B）（C）

期 日：7月7日（日曜日） 11時～安全祈願、12時35分～足柄ささら踊

場 所：夕日の滝広場（南足柄市矢倉沢地蔵堂）

交 通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」から伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」下車、バス「地蔵堂」行き「地蔵堂」下車、徒歩約15分

内 容：「足柄ささら踊」は、江戸時代から明治時代にかけて、少女たちが「盆踊り」として踊っていたものです。明治末期以降は徐々に衰退しましたが、昭和29年頃、地元婦人会が再興しました。踊りでは竹のビンササラを突き、小太鼓をうち2本の扇をういます。種類としては扇踊り、手拭踊り、太鼓踊り、丸々踊りがあります。最近では少女ではなく成人した人達が、浴衣と木綿帯に赤い腰巻を出して、玉だすきで踊ります。

問合せ：南足柄市観光協会（南足柄市商工観光課内） Tel0465(74)2111

### ● 祇園舟（E）

期 日：7月7日（日曜日） 大祭式 10時～ 祇園舟神事 引き続き11時頃～

場 所：富岡八幡宮（横浜市金沢区富岡東4-5-41）

交 通：京浜急行線「富岡駅」下車、徒歩約8分

内 容：源頼朝ゆかりの富岡八幡宮に800年以上伝わる、京都の祇園祭と同様の夏越の祓えの神事。長さ70cm幅50cmほどの円形の舟を青茅で作し、縁に1年分12本の御幣、中央に大きな御幣を立てます。その舟に麦のだんごや麦糰の甘酒を供え、氏子中の罪穢を託して沖合に流します。帰路、五丁櫓の和船が競漕するのがこの神事のハイライトです。

問合せ：富岡八幡宮 Tel045(776)3838

### ● 天王祭 三ツ目神楽（E）

期 日：7月9日（火曜日）19時～

場 所：瀬戸神社境内（横浜市金沢区瀬戸）

交 通：京浜急行線「金沢八景駅」下車、徒歩約3分

内 容：「天王祭」は氏子町内挙つての盛大な祭りです。第一日曜は出御祭です。

お御霊が神輿にお遷りになります。それから三日目の晩に行われるのが「三ツ目神楽」です。「鎌倉神楽」「湯花神楽」又は「職掌神楽」とも呼ばれる古風な湯立神楽です。境内の一角に置いた大釜に熱湯をたぎらせ、その湯を青竹の御幣でかき回して湯花（沸騰時に沸き上がる湯の泡）を立てるとともに、さらに笹の葉をひたして、境内や訪れた人たちの頭上に振りまき、厄払いをする夏の行事です。この行事では太鼓や龍笛などで神楽が演奏されるが、これは神に捧げる音楽です。古い記録では2、3日かけて、五十七座も演奏されたといわれますが、現在は十座ほどとなります。瀬戸神社及び富岡八幡宮の宮司であり鎌倉の鶴岡八幡宮で職掌と呼ばれた佐野家に伝わる格調高い神楽です。同様の神楽が富岡八幡宮では二月、十一月の「卯倍従」と秋季祭礼の宵宮で奏されるほか、金沢区内の諸社の祭礼においても奏されます。

問合せ：瀬戸神社 TEL045(701)9992

● 相模原市博物館プラネタリウム・相模里神楽垣澤社中・「神話から見る神々の世界」(E)

期 日：7月13日(土曜日) [第1回公演] 13時～14時 [第2回公演] 15時～16時

開場は各公演ともに開演の15分前 ※途中でのご入場はご遠慮ください。

場 所：相模原市立博物館プラネタリウム(相模原市中央区高槻3-1-15)

交 通：相模原市博物館・民俗企画展「上溝番田の神代神楽」の記載内容を参照下さい。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。今回、初めての試みとして県内最大級であるプラネタリウムでの全天周映像の演出と里神楽の実演による「神話から見る神々の世界」と「星空解説」とのコラボレーションをお楽しみ下さい。

(演目)「黄泉醜女(よもつひこめ)」 「身褌祓(みそぎはらい)・三貴神之現れ(さんきしんのあらわれ)」 「山神(さんじん)」

定 員：[第1回公演] [第2回公演] 共、当日先着200名

観覧料：大人500円、未就学児・市内在住、又は在学の小中学生無料、左記以外の小中学生200円、65歳以上250円(要証明書)、障害者手帳の交付を受けている方とその介護者、ひとり親家庭の方無料(要証明書)

※前売り券はございません。

※開館時間(午前9時30分)から券売機で販売します。

主 催：相模原市立博物館

問合せ：TEL:042(750)8030 FAX:042(750)8061 HP:<https://sagamiharacitymuseum.jp/>

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中(代表)垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:[info@kakizawa-company.com](mailto:info@kakizawa-company.com) <https://www.sagami-satokagura.com>

● 江の島囃子祭(天王囃子)(C)・八坂神社天王祭(E)

期 日：7月13日(土曜日)宵宮祭

7月14日(日曜日)神幸祭 9時30分より発輿祭神事、10時発輿 八坂神社例祭

場 所：藤沢市江の島・鎌倉市腰越周辺

江島神社(藤沢市江の島2-3-8)

交 通：小田急線「片瀬江ノ島駅」下車、徒歩約10分、江ノ電「江ノ島駅」下車、徒歩約15分、湘南モノレール「湘南江の島駅」下車、徒歩約20分

内 容：天王祭は、江島神社境内末社八坂神社の祭礼で、祇園祭とも言われます。古来本社の祭礼よりも華麗で、天王囃子が特色ある芸能として有名です。天王囃子に使用される楽器は、太鼓・笛・鉦のほか、チャルメラ・銅鑼・柄太鼓・小鼓・三味線です。通り囃子・松囃子・神囃子・竜神囃子・唐人囃子の五つの囃子のグループが囃子を奏でながら神輿と共に島内参道を練り歩きます。

神幸祭では八坂神社の神輿が辺津宮から参道の土産物街を下り、弁天橋付近から海中に入り海上渡御を行います。その後、島内東浦を練り、腰越の小動神社まで巡行します。神輿を迎える腰越町内も囃子の乗った山車が置かれ、小動神社の神輿が登場し大変に賑わいます。また、巳年、亥年の祭礼では御神体の御開帳が行われます。

なお、祭礼の由来、神幸祭の日程等は江島神社HPに詳しく掲載されています。  
ご確認ください

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(25)1111 (内5313)  
江島神社 Tel0466(22)4020

● **根府川寺山神社の鹿島踊り (C)**

期 日：7月13日(土曜日)～14日(日曜日)

13日 宵宮の鹿島踊り 19時頃～

14日 出の鹿島踊り10時頃～／納めの鹿島踊り17時頃～

場 所：寺山神社境内(小田原市根府川)

交 通：JR東海道線「根府川駅」下車、徒歩約3分

内 容：鹿島踊りは、航海安全と豊漁、さらには、悪疫退散の祈願を主体とした神事舞踊の性格が濃いもので、鹿島神宮(茨城県)の信仰から起ったものと考えられています。現在も、小田原市から静岡県東伊豆町北川までの地域に伝承されています。杓・日形・月形の役を配し、踊りには加わらない警護の役が四隅に立ちます。

問合せ：小田原市文化財課 Tel0465(33)1717

● **海南神社夏例大祭 (E)**

期 日：7月13日(土曜日) 12時30分～21時仮宮

7月14日(日曜日) 12時30分～23時30分神輿奉還

場 所：海南神社及び三崎港周辺

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、京急バス2番乗り場より通り矢行き、城ヶ島行き、三崎港、浜諸磯行きで「三崎港」下車、海南神社へは徒歩約3分

内 容：三浦市三崎に伝わる夏例大祭の神輿渡御は、大太鼓、猿田彦・風・雨の面が先導し、その後に、大きな2頭の獅子、山車、神輿、山車の順で行われます。1頭の獅子頭を4人で持ち、胴部となる布の部分を20人ぐらいでつかみ、その後に1人が尾を持ち、木遣師の唄に合わせ邪気や疫病を祓いながら練り歩きます。神輿もまた、木遣師の唄により担ぎ上げ渡御します。

問合せ：海南神社 Tel046(881)3038

● **相模原市博物館・民俗企画展「上溝番田の神代神楽」**

期 日：7月13日(土)～9月8日(日) 9時30分～17時

※休館日：7月16日(火) 8月26日(月) 9月2日(月)

会 場：相模原市立博物館 特別展示室(相模原市中央区高槻3-1-15)

交 通：国道16号「共和4丁目」交差点を西へ500m 無料駐車場95台(障害者用4台分含む)、大型バス4台可(※無料)※大型バス、マイクロバスでお越しになる場合には、必ず事前予約をお願いします。また、大型バス用駐車場は、当館の利用者しか利用できませんのでご了承ください。

JR横浜線「淵野辺駅」南口下車、徒歩約20分(博物館までの案内看板あり)、JR横浜線「淵野辺駅」南口下車、バス(2番乗り場)淵37系統 青葉循環(左廻り淵野辺駅南口行)か 淵36系統 青葉循環(右廻り 淵野辺駅南口行)「市立博物館前」下車すぐ(乗車時間 左廻りは約5分、右廻りは約15分。左廻りがな

い時間帯もあり)、JR横浜線「相模原駅」南口下車、バス(4番乗り場)相02系統、小田急線相模大野北口行(鶴野森経由)で「宇宙科学研究本部」下車、徒歩8分、小田急線「相模大野駅」北口下車、バス(5番乗り場)相02系統 相模原駅南口行(鶴野森経由)「宇宙科学研究本部」下車、徒歩8分、JR相模線「上溝駅」下車、バス(4番乗り場)淵52・淵53・淵59系統 淵野辺駅南口行「弥栄」下車、徒歩11分

内 容 : 神代神楽(里神楽)とは、面をつけて「古事記」や「日本書紀」の神話を演じる仮面黙劇で、神社の祭礼などで神に奉納されます。上溝番田の亀山家は、天明8年(1788)の古文書に川崎の山王社祈願所の神主鈴木丹後から宮内氏宛に諸事神事と神楽を命じられた文書や明治9年(1876)神道事務局から22曲の神楽試験済み許可書が勘蔵氏に与えられている神代神楽師の名門です。

相模原市や座間市を中心とした地域で神楽の奉納を担ってきました。しかし、令和4(2022)年に保存会が解散となり、古文書、神楽衣装、神楽面、小道具類が当館に寄贈されました。今回、保管品のアーカイブ化の為、これまで市民ボランティア「福の会」と厚木市の相模里神楽垣澤社中のご協力も頂き資料整理を行ってきました。

本展示では、その成果を初公開致します。実際に使用されてきた道具類を通して、深遠なる神代神楽の世界の一端を感じて頂ければ幸いです。

入館料 : 観覧無料

主 催 : 相模原市立博物館

問合せ : TEL:042(750)8030 FAX : 042(750)8061 HP:<https://sagamiharacitymuseum.jp/>

## ● お札まき (E)

期 日 : 7月14日(日曜日) 17時20分~20時00分

場 所 : 八坂神社境内(横浜市戸塚区戸塚町4189)

交 通 : JR東海道線「戸塚駅」下車、西口より国道沿いに消防署先約15分

内 容 : 八坂神社には、元禄元年の再興以来、夏祭りにこの踊りが伝えられています。

厄霊除けの行事で、氏子の男子十人が女性の身なりでうちわを持ち、翁面をつけた大弊を持つ者も一人います。かつらをかぶった音頭取りが、みんなの先頭に立ち、歌や踊りが終わると町内を一巡しながら要所要所で五色の神札をうちわであおり、道路にまき、人々はこれを争うように拾って帰り、厄除けのお守りとします。かつて江戸や大坂でも行われた行事ですが、今は東海道の戸塚だけ残されているといわれています。

問合せ : お札まき連中 代表 内田 俊夫 TEL045(860)2260

横浜市教育委員会生涯学習文化財課 TEL045(671)3284

## ● 仙石原天王祭(箱根の湯立獅子舞) (A)

期 日 : 7月14日(日曜日)

場 所 : 諏訪神社境内ほか(箱根町仙石原)

交 通 : JR東海道線・小田急線「小田原駅」、又は箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から箱根登山バスの桃源台線「仙石」下車、徒歩約3分



内 容：箱根町の宮城野と仙石原に伝わる獅子舞は、獅子が湯立神楽を行う、全国でも希少な湯立獅子舞です。ただし、仙石原の天王祭では例年、獅子は湯立を行わず天王神輿を先導し、お囃子とともに仙石原全域を巡行します。獅子と神輿は各集落を回り、用意された御神酒所で四方固めの舞を舞って、集落の安全を祈ります。また、これとは別の獅子舞の集団が厄払いを希望する店舗や美術館、ゴルフ場、旅館等を巡って「厄払い神楽」を行います。

問合せ：箱根町教育委員会生涯学習課 TEL0460(85)7601

### ● 三増の獅子舞 (C)

期 日：7月14日（日曜日） 15時～

場 所：諏訪神社（愛川町三増587番地） ※見学者専用駐車場はありません。

交 通：小田急線「本厚木駅」からバス「上三増」行き 「三増」下車すぐ

内 容：約300年前から行われていると伝わる一人立ち三頭獅子舞です。諏訪神社に合祀された八坂神社の天王祭に舞います。獅子は父の巻獅子、母の玉獅子、子の剣獅子の3頭で、この他、姥面をかぶった教導役としてのバンバ、露はらいの天狗、ササラ等が加わります。

問合せ：三増獅子舞保存会事務局 菊地原賢一 TEL090(1118)3993〔携帯〕  
愛川町郷土資料館 TEL046(280)1050

### ● 佐島の御船歌 (E)

期 日：7月14日（日曜日）10時～18時（時間は予定）

場 所：熊野神社他（神輿の遷座場所で御船歌を奉納）

交 通：JR横須賀線「逗子」から京急バス佐島マリーナ入口行き又は、京浜急行逗子線「新逗子駅」から佐島マリーナ入口行きで約40分「佐島漁港前」下車

内 容：佐島では御船歌が民衆の中にとけこみ歌いつがれ、祭礼には航海の安全を祈り大漁を願い、そして、日頃の感謝を込めて御船歌を神社や神輿の巡幸途中の遷座場所で、佐島御船歌保存会により奉納します。

今年は4年に一度の船渡し（船渡御）が行われます。

曲目には「めでた」「きしゅうきのたに」「ほめことば」などがありますが、船渡しのときは、「おふねのりだす」「みなといり」「いかりやれ」が唄われます。

問合せ：横須賀市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課 TEL046(822)8484

### ● 厚木神社例大祭 厚木ばやし保存会

期 日：7月14日（日曜日）10時30分～11時

場 所：厚木神社「境内」（厚木市厚木町3-8）TEL046(223)7799

交 通：小田急小田原線「本厚木駅」下車、東口より徒歩約10分

内 容：7月13日（土）は、午後より厚木市内を車で移動・演奏。夕方、厚木一番街付近にて演奏。14日（日）は、10時30分より17時まで厚木市内や各祭典事務所で演奏。

問合せ：酒井 TEL046(228)2877

### ● 福田神社囃子獅子舞 (E)

- 期 日：7月14日（日曜日）10時頃～19時頃  
場 所：福田神社（大和市福田8-8-2）  
交 通：小田急線「桜ヶ丘駅」下車、西口を出て交差点を直進し、富士見橋の手前、桜ヶ丘学習センター入口を右に入り、道なりに進み突き当たり右に約120m左側の小高い地に福田神社が鎮座しています。徒歩約10分。  
内 容：福田神社囃子獅子舞は、昭和44年大和市指定重要無形民俗文化財に指定（所在地：大和市福田8-8-2）を受けました。江戸時代末期より伝承された伊勢大神楽系で下町ばやしと称し百年以上の歴史を持っています。囃子方は笛一・締太鼓二・大太鼓一・鉦一の五人囃子を伴奏として、踊りは獅子とおかめ、ひょっとこが登場します。曲目は屋台・鎌倉・四丁目・岡崎が伝承され、毎年、正月と福田神社の祭礼で上演されます。夏の例大祭は、海の日前日の日曜日に神輿渡御が盛大に行われます。山車が神輿を先導し、午前10時に宮出をし13ヶ所の神酒所（今年度は11カ所に縮小）へ巡行します。山車の上では居囃子が祭太鼓を叩き、獅子は神酒所で舞って清め、おかめ、ひょっとこの馬鹿面も一緒に舞踊って賑やかに盛り上げます。全ての巡行が終わり、神輿の宮入は、19時頃に終了します。  
問合せ：大和市役所文化スポーツ部文化振興課 市史・文化財係 TEL046(260)5225

● 南湖麦打唄（E）

- 期 日：7月14日（日曜日）  
場 所：八雲神社境内（茅ヶ崎市南湖4-4-29）  
交 通：八雲神社までは「茅ヶ崎駅」より徒歩約20分。又は駅南口よりバス、松尾・浜見平団地循環「仲町」下車、徒歩約7分  
内 容：南湖麦打唄保存会によって八雲神社に奉納されます。かつては市内各所で歌われていましたが、現在は南湖地区にのみ伝承されています。  
問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 TEL0467(81)7226（直通）  
南湖麦打唄保存会 会長 石井忠彦 TEL0467(38)4351

● 宮城野天王祭（箱根の湯立獅子舞）（A）

- 期 日：7月15日（月曜日・祝日） 14時～ ※神事は13時～  
場 所：諏訪神社境内（箱根町宮城野）  
交 通：JR東海道線・小田急線「小田原駅」、又は箱根登山鉄道「箱根湯本駅」から湖尻桃源台駅行きのバス、「宮城野」下車、徒歩約10分  
内 容：箱根町の宮城野と仙石原に伝わる獅子舞は、獅子が湯立神楽を行う、全国でも希少な湯立獅子舞です。宮城野の天王祭での獅子舞は平舞、行の舞、宮めぐりの舞、三本剣の舞、釜の舞、四方固めの舞で構成されます。その中心は釜の舞で行う湯立で、獅子は煮えたぎる湯釜の前に立ち、幣束で「風」の字を切り、湯釜の中に入れて三度かき回して湯を鎮めます。最後に笹の束（宮城野では「湯たぶさ」と呼ぶ）を採って両手で熱湯をかき回し、湯たぶさを引き上げて湯花を神に献じ、その後氏子の頭上にも振りかけます。この湯花をいただくと一年間病気にかからないと言われていました。  
問合せ：箱根町教育委員会生涯学習課 TEL0460(85)7601

## ● 御幣参り

期 日：7月15日（月曜日・祝日） 午前10時頃（予定）

場 所：茅ヶ崎市南湖地区内

交 通：八雲神社までは「茅ヶ崎駅」より徒歩約20分。又は駅南口よりバス、松尾・浜見平団地循環「仲町」下車、徒歩約7分

内 容：浜降祭が終わった午後に南湖地区だけでひっそりで行われる浜降りの神事です。現在浜降祭に参加する南湖地区の神社は5社ありますが、そのうち、八雲神社（茅ヶ崎市南湖4-4-29）が南湖の総鎮守であったと言われており、この行事も八雲神社が中心となります。

浜降祭から帰還した八雲神社の大神輿は、午前中地元の町内を渡御しますが、昼頃に神社に戻ります。その際に大神輿から白木造りの「御幣宮」という小さな宮形神輿に神霊を遷します。御幣宮は白丁姿の氏子に担がれて、太鼓や長持等の行列を伴って南湖全町内の要所を廻り、神事を行います。巡行途中、海岸に至って浜辺で神事を行い、御幣宮を担いで海中に入って禊をします。

この行事は江戸期に起った或る諍いを、名主の屋号「江戸屋」というお宅が仲裁に入って解決したことに対する御礼として始められたと言われており、現在でも東海道沿いに屋敷を構える同家には一行が必ず立ち寄ることになっています。

なお、南湖地区内では浜降祭の時、神社の鳥居や特定の辻の上空に藁蛇の飾りを作って飾り付ける習俗もあり、見学の際にはこちらも御注目ください。

問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 Tel0467(81)7226（直通）

日枝神社（南湖八雲神社宮司兼務） Tel046(267)2939

## ● 浜降祭（C）

期 日：7月15日（月曜日・祝日）4時～9時頃

4時頃～ 神輿入場開始

7時頃～ 参加全神社祭場着御し次第、浜降祭合同祭典

9時頃～ 祭典終了後直ちに、お立ち・退場

場 所：茅ヶ崎市南湖、茅ヶ崎海岸西浜

交 通：JR東海道線「茅ヶ崎駅」下車、駅南口より徒歩約20分

また、茅ヶ崎駅南口から海岸周辺と国道134号線は大幅な交通規制が行われます。駐車場、駐輪場は有りませんので、自家用車で行かれる方は十分に御注意ください。祭礼日近くに、浜降祭HPに交通規制地図がアップされますので、必ず御確認ください。

内 容：浜降祭は相模国一之宮寒川神社の御礼渡御伝承と茅ヶ崎市浜之郷の鶴嶺八幡社相殿佐塚明神の浜降り行事が一体となった行事で、現在は茅ヶ崎・寒川両市町の34神社が所有する大小合せて39基の神輿が参加します。早朝に各神社を宮立ちした神輿は日の出と共に続々と南湖の浜に集結します。砂浜に設けられた各駐輿所に着御し次第、寒川神社宮司を斎主として、多数の神職の奉仕による合同祭典が行われます。入退場時に「どっこいどっこい」の掛け声と、タンス・本坪鈴の音も勇ましく砂浜に神輿が乱舞し、数社は海水でのお浄めの儀式「み

そぎ」の為、白波立つ海中に進入してしばし揉み合う様は圧巻です。なお、浜降祭の前後には各地区で神輿に御霊を入れる神事や神輿の地区内の渡御等も行われ、祭囃子演奏や各種郷土芸能が公開される地区もあります。

問合せ：茅ヶ崎海岸浜降祭実行委員会 TEL0467(75)0004

### ● 白旗まつり（白旗神社例大祭）

期 日：7月15日（月曜日）～21日（日曜日）例大祭

場 所：白旗神社（藤沢市藤沢2-4-7）

交 通：小田急線「藤沢本町駅」下車、徒歩約7分

内 容：白旗まつりは7月15日から21日までの1週間、白旗神社で開催される祭礼で、最終日の21日が例大祭となっています、15日が出御祭、本年は21日が神輿の氏子町内巡行となります。巡行経路は年番町会を中心として設定されます。その他に19日が野外映画祭、20日が宵宮で万灯みこしが渡御します。21日は午前中が例大祭となり祭典が行われ、正午に神幸祭が始まり神社を出発、神輿の町内渡御が行われます。宮入は17時半から18時頃を予定しています。なお、祭礼期間中は地元町会の白旗横町の囃子が乗った山車が境内に置かれ、賑やかにお囃子が奏でられます。15日～21日の還御祭までの正式な行事日程や神輿の巡行経路は祭礼日近くに正式に発表されます。

行事予定は次の通りです(予定)。7月15日 出御祭 19時、19日 野外映画祭 19時30分（境内）、20日 万灯みこし 18時（南仲通りのFプレイスを出発し宮入り）21日 午前例大祭祭典 正午神輿出発 宮入り17時30分から18時頃

問合せ：白旗神社 TEL0466(22)9210

### ● 南山田の虫送り（E）

期 日：7月20日（土曜日）

場 所：山田神社～夏みかん公園（横浜市都筑区南山田町）

交 通：東急東横線「綱島」下車、バス（綱44～48系統）「宮の下」下車、階段上

内 容：稲の害虫を松明の灯りで集め、町の外まで送り出す行事です。現在は水田も無くなり、町内に降りかかる災いを害虫に見立てて行っています。7月土用入り後の土曜日の夕方、氏神の山田神社に集まり、社殿を左に三回まわってから南山田の地域を巡ります。獅子頭を先頭に行列を組み、独特の囃子「虫送りの曲」に乗せて子供たちが松明を掲げます。最後は公園で松明を集めて燃やし、その周囲で囃子連によるひょっこ踊り、獅子舞が披露されます。

問合せ：南山田虫送り保存会 会長 齊藤一雄 TEL045(591)3035

横浜市教育委員会生涯学習文化財課 TEL045(671)3284

### ● 武八坂神社夏祭 下武の獅子舞

期 日：7月20日（土曜日）宵宮

7月21日（日曜日）上武巡行・下武巡行

場 所：武会館前広場（横須賀市） 20日 15時（予定）獅子舞 お囃子 謡

21日 8時、17時30分（予定）獅子舞 お囃子 謡

※会館以外の休憩場所等でも、獅子舞は演じられます。

交通：JR横須賀線「横須賀」下車、京浜急行線「横須賀中央」下車、三崎行き、長井行きバス、南武入口下車、武会館まで徒歩10分

内容：演じられる獅子舞は、下武地区に継承されている二人立ちの大神楽系の獅子舞で、太田和の雄獅子に対して、雌獅子といわれ、獅子戯（シシザレ）の「かまくら」では、獅子が坐り込み、耳を搔いたり幕を嚙んだり、ノミを取る仕種、また調子の良い獅子詞「目立たい島田へ食いつめたんじゃえ」と、仕種・表情など随所に愛らしさが表現されています。

問合せ：下武囃子方保存会 山本昌三 Tel080-3201-3357

### ● 行合祭り（山ノ内八雲神社例大祭）

期 日：7月20日（土曜日）宵宮、7月21日（日曜日）神幸祭

場 所：八雲神社（鎌倉市山ノ内585）

交通：JR横須賀線「北鎌倉駅」下車

内容：鎌倉市山ノ内八雲神社の例祭。20日は宵宮の夜祭り、21日が神輿渡御です。21日は大船にある山崎北野神社内の八雲神社から神輿がやって来ます。山ノ内が男神、山崎が女神です。年に一度だけ、山ノ内八雲神社を訪れて出会うことから「行合い祭り」と呼ばれます。21日、山ノ内の神輿は正午に御仮屋を出発、山ノ内地区の寺院、町内を巡幸します。両社神輿は北鎌倉駅前で行合い、その後、天王屋敷跡に向かいます。天王屋敷での神事は15時半です。

問合せ：御霊神社社務所 Tel※問合せ不可（御霊神社は退会したので、当協会員からの問い合わせは控えて下さい。

### ● 禰宜舞（E）

期 日：7月21日（日曜日）14時頃～ \*9月15日（日曜日）にも行われます。

場 所：白幡八幡大神拝殿（川崎市宮前区平4-6-1）

交通：東急田園都市線「宮前平駅」下車、南口1番又は北口4番乗り場より「溝15系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分

東急田園都市線、JR南武線「溝の口駅」下車、南口2番乗り場より「溝16系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分、南口3番乗り場より「溝17系統・18系統」バスにて「平」下車、徒歩5分

小田急線、JR南武線「登戸駅」生田緑地口より「登05系統」バスにて「平」下車、徒歩5分

内容：稲毛惣社である白幡八幡大神の夏祭りに締太鼓一つだけを伴奏に円を描くように舞われます。四方祓い（素面）・猿田彦命・天鈿女命・天児屋根命・彦火火出見命・大山祇命の五座を面と衣装を替えて舞います。

新編武蔵風土記稿の神主小泉家について記された中に「村内の八幡・神明・五所稻荷などの神職を兼務む…。近村神主の少なきゆえ、何れの村にても祭事ある毎に、必ず信濃に託して今の俗に用ゆる所の十二座及び五座等の神楽を行えり」とあって、この五座の舞が禰宜舞です。

舞の起源ははっきりしませんが、慶長5年（1600）徳川家康関ヶ原御出陣の祭戦勝御祈願の為、平村白幡八幡社の神主小泉家に太々神楽を興行させたのが始まりと言われ、今日に伝わっています。

江戸初期には正月3日、江戸城に上り将軍の前で舞ったと言われています。  
現在では各神社の夏祭・例大祭に家内安全を願い奉納されています。この禰宜舞は一子相伝にて伝えられ、舞われています。

問合せ：白幡八幡大神社務所 Tel044(977)5639

### ● 長井の祭木遣り唄

期 間：7月21日（日曜日）8時～12時（時間は予定）

場 所：第六天神社及び井尻町内

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、京急バス3番線より「荒崎」行き、「井尻」下車、  
神社まで徒歩5分

内 容：相模湾に面した漁村集落の祭礼では、山車や神輿の渡御にあたり、木遣りが唄  
われるのが特徴です。

長井井尻町内には、昔から唄われてきた木遣り唄が保存伝承されています。

7月21日、井尻町内の氏神様である第六天神社の祭礼には、この木遣り唄を神  
社に奉納します。

午前8時頃から井尻木遣保存会による神社へ木遣り唄を奉納したあと、雌雄の獅  
子を先頭に、子ども達が引く万灯を保存会の人達が囲むようにして木遣りを唄  
いながら町内を巡行します。万灯の巡行は、午前中で終了します。

問合せ：民俗芸能保存協会 飯島 Tel046(848)2191

### ● 金田八坂神社・走湯神社の祭り（担ぎ屋台）

期 間：7月21日（日曜日）17時頃～23時頃

場 所：走湯神社周辺（南下浦町金田）

交 通：京浜急行線「三浦海岸」下車 釧崎方面行きバス「金田」下車徒歩2分

内 容：三浦半島南部の夏祭りは、屋台を若い衆が担ぎ、囃子たて、神輿と共に町内を  
練り歩いていましたが、近年、祭りに参加する若者の減少や交通事情によりそ  
の姿が、引き屋台に変わって来ました。

三浦市では、今も昔ながらの貴重な担ぎ屋台が、農漁村地域の祭りで見られま  
す。しかし、交通事情等の関係で国道、県道を通る際には台車を付け、運行し  
ますが、神社近くになると担ぎ屋台へと変わり、神社まで時間を掛け、屋台の  
中で囃子立てながら、若者が勇壮に担ぐ姿が見られます。

問合せ：菊名白山神社 Tel046(888)0758

### ● 第46回相模ささら踊り大会 相模ささら踊連合会 (B)(C)

期 日：7月24日（水曜日）開場13時 開演13時30分～16時（予定）

場 所：荻野運動公園（厚木市中荻野1500）

交 通：小田急線「本厚木」下車 5番乗場から神奈中バス宮の里行き「宮の里東」下車  
徒歩約10分

1番乗場から鳶尾団地（公所経由）行き、まつかげ台行き、上荻野車庫行き、  
半原行き「稻荷木」下車 徒歩11分

内 容：県内の「相模のささら踊り」保存会7団体が一堂に会して開催される行事です。  
出演団体（出演予定順）

- (1) 足柄ささら踊保存会
- (2) 長谷ささら踊り盆唄保存会
- (3) 海老名ささら踊り保存会
- (4) 秦野ささら踊り保存会
- (5) 相模国飯山白龍太鼓保存会（特別出演）
- (6) 綾瀬ささら踊り保存会
- (7) 葛原芸能保存会
- (8) 愛甲ささら踊り盆唄保存会

問合せ：厚木市産業文化スポーツ部 文化魅力創造課 Tel046(225)2509

● **辻堂諏訪神社人形山車（E）（辻堂諏訪神社例大祭）**

期 日：7月26日（金曜日）宵宮祭、7月27日（土曜日）本祭

場 所：諏訪神社（藤沢市辻堂元町3-15-15）

交 通：JR東海道線「辻堂駅」南口下車、徒歩約10分

内 容：辻堂諏訪神社の例大祭で人形山車（藤沢市指定有形民俗文化財）が曳行されます。明治初期以来のものと伝えられている4台の人形山車は、東・西・南・北町の各町内会に保存されています。山車の上には、源頼朝（東町）、源義家（西町）、武内宿禰（南町）、神功皇后（北町）の等身大の人形が飾られています。屋台では太鼓や笛などのお囃子が奏でられます。7月23日は神輿が町内を練る神幸祭、26日は宵宮、27日に人形山車が神社まで曳行されます。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(25)1111（内線）5313

鵜沼皇大神宮 Tel0466(24)5590

● **貴船神社の船祭り（A）**

期 日：7月26日（金曜日）10時～と7月27日（土曜日）8時20分～

場 所：真鶴港及び町内（真鶴町）

交 通：JR東海道線「真鶴駅」下車、ケーブ真鶴行きバスで、「魚市場」または「宮の前」下車すぐ。なお、駅から徒歩約20分。

内 容：日本三大船祭の一つで、祭の中心は御座船による神輿渡御と鹿島踊りの上演であり、船に乗せられた神輿は囃子方の乗った船ともども湾内を渡御して御座所につき、そこで鹿島踊りが奉納されます。また、神迎えの際に二艘の櫓伝馬による勇壮な競漕が行われます。

問合せ：真鶴町教育委員会教育課生涯学習係 Tel0465(68)1131

● **上宮田諏訪神社の祭り（担ぎ屋台）**

期 日：7月27日（土曜日）19時～22時

\*7月26日（金曜日）から二日間の祭礼ですが、担ぎ屋台は7月27日のみとなります。

場 所：諏訪神社周辺（南下浦上宮田）

交 通：京浜急行線「三浦海岸」下車 徒歩15分

内 容：三浦半島南部の夏祭りは、屋台を若い衆が屋台を担ぎ囃子たてて、町内を練り歩いていましたが、近年、祭りに参加する若者の減少や交通事情の変化の伴いその姿が、引き台車に変わってきました。三浦市では、今も昔ながらの貴重な

担ぎ屋台が、農村地域の祭りで見られます。交通事情の関係で国道、県道を通る際は、台車に乗せ運行しますが、神社近くになると、担ぎ屋台となり、神社まで時間を掛け、屋台の中で囃子たてながら、若者が勇壮に担ぐ姿が見られます。

問合せ：菊名白山神社 Tel046(888)0758

### ● 藤沢宿・遊行の盆

期 日：7月27日（土曜日）

7月28日（日曜日）

場 所：27日藤沢駅北口ミナパーク前周辺、28日遊行寺（藤沢市西富1-8-1）

交 通：ミナパークへはJR東海道線「藤沢駅」北口から徒歩すぐ

遊行寺へはJR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：藤沢市内の舞踊団体、創作舞踊遊行ばやしの他、ゲストとして秋田県羽後町西馬音内盆踊り、岐阜県郡上八幡の郡上おどり、東京高円寺阿波踊りが出場する予定です。27日は藤沢駅北口ミナパーク前、28日は遊行寺境内で踊ります。また、盆踊り以外にも地元の祭囃子、遊行寺踊り念仏など様々な民俗芸能が登場します。その他に、藤沢駅北口のサンパール広場、遊行寺近くの藤沢宿交流館でも各種イベントが行われます。本年のイベント内容やスケジュールの詳細は、開催日近くに公式HPに発表されますのでご確認下さい。

問合せ：遊行の盆実行委員会 Tel0466(27)8888または公式HP、公式Facebook

### ● 田村ばやし（E）（田村八坂神社例大祭）

期 日：7月27日（土曜日）宵宮、7月28日（日曜日）例大祭

場 所：田村八坂神社（平塚市田村8-21-30）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口からバス、田村経由、本厚木駅南口方面行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「田村十字路」下車、徒歩5分

内 容：田村八坂神社の祭囃子として演奏されてきました。旧神田村で「神田囃子」と呼ばれてきましたが、江戸の神田と混同されるとして「田村ばやし」と呼称するようになりました。鎌倉時代、田村へ来た鎌倉4代将軍九条(藤原)頼経に随行していた京都の楽人から伝えられたという伝承があり、およそ800年の歴史を持つとされています。田村ばやしは「屋台、宮昇殿」「昇殿、神田丸」「唐楽鎌倉、仕丁舞、印場」の7曲、3組から構成され、笛のリードで曲が変化してゆくことに特長があります。日曜日の例大祭では子供神輿が登場するほか、神輿と囃子が乗った屋台の町内神幸が行われます。19時に宮入、その後八坂神社境内にてお囃子が演奏されます。

問合せ：平塚市社会教育課 Tel0463(35)8124

### ● 鈴鹿明神社例大祭

期 日：7月31日（水曜日）宵宮祭 8月1日（木曜日）例大祭 ※詳細はご確認下さい。

場 所：鈴鹿明神社（座間市入谷西2-46-1）、入谷地区一帯

交 通：JR相模線「入谷駅」下車、徒歩約10分、又は小田急線「座間駅」下車、徒歩約



10分、東名高速「町田I.C」から約10km、又は圏央道「県央厚木I.C」から約4Km

内 容：調整中

問合せ：座間市教育委員会生涯学習課 Tel046(252)8431

鈴鹿明神社社務所 Tel046(256)1122

## 〈8月〉

### ● 素鷲神社祭典(吉浜)鹿島踊り奉納 (B) (C)

期 日：8月1日(木曜日)9時30分頃～

場 所：素鷲神社境内(湯河原町吉浜)

交 通：JR東海道線「湯河原駅」下車、真鶴駅行き、又は小田原駅行きバスで約5分、  
「海の家」下車

内 容：素鷲神社の鹿島踊りは、疫病の送り払い、大漁と豊作、石材産出の無事とそれを輸送する海上安全を祈願したものです。踊り手は白丁を着て烏帽子をかぶり、太鼓役、鉦役、黄金柄杓役、日形役、月形役などで構成されています。

問合せ：湯河原町教育委員会 社会教育課 Tel0465(62)1125

### ● 川崎山王祭りの宮座式 (D) (川崎山王祭) \*宮座式は原則非公開です。

期 日：宵宮 8月1日(木曜日)18時、例祭 8月2日(金曜日)10時、  
古式宮座式(非公開)8月2日(金曜日)14時、  
神代神楽 8月3日(土曜日)8月4日(日曜日)13時

場 所：稲毛神社(川崎市川崎区宮本町7-7)他

交 通：JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、徒歩約7分、  
京浜急行線「京急川崎駅」下車 徒歩約5分

内 容：稲毛神社は、社伝によると欽明天皇の6世紀に鎮座し、江戸時代には「河崎山王社」と呼ばれ東海道川崎宿の鎮守として地元で慕われていました。例大祭は「川崎山王祭」と呼ばれ、1日は18時から宵宮祭、2日10時に例祭、14時より県選択無形民俗文化財「川崎山王祭りの宮座式」(古式宮座式)が行われます。七家九人の社人のうち「お台所役」をつとめる者は、古来よりの口伝の方法で「麦御供(むぎこく)」「麦でつくる3種類のお供え物」と「濁り酒」をつくります。特別な装束を着てそれを神様に供え、おさがりを皆で食します。このとき箸は青茅(あおがや)を用います。その後、孔雀と玉の2体の大神輿に御神体をお遷しします。この遷し方に秘伝があつて、それは神様の「結婚」といわれています。この一連の儀式は「宮座式」と呼ばれ、かつては浄闇(夜)の中で行われ、一般の人は参列することも見ることもできない秘式として伝えられてきました。3日と4日に神代神楽などが行われ、3日に町内みこし連合渡御、4日には神幸祭(神社大みこし渡御)が行われる予定です。

問合せ：稲毛神社社務所 Tel044(222)4554

### ● 西小磯の七夕(西小磯西地区) (B) (C)

期 日：8月2日(金曜日)～8月3日(土曜日)

場 所：大磯町西小磯西・西小磯西老人憩いの家

交通：JR東海道線「大磯駅」からバス磯07系 大磯プリンスホテル行、磯13系 西公園前行、大磯駅(循環)行、磯14系 二宮駅北口行又は「平塚駅」からバス平47系 二宮駅南口行「城山公園前」下車、徒歩約3分

内容：2日、竹取り・竹配布を行い、子どもたちは自宅で竹に飾りをつけます。  
3日、子どもたちが竹飾りを担いで地区内の道祖神・井戸水神・辻・神社等を巡ってお祓いを行います。途中、お面をかぶって七夕踊りを踊ります。  
午後から竹飾りで竹神輿を作り、竹神輿を担いで地区内を回ります。  
翌日午前7時頃から竹神輿を海岸に運び泳いで沖に流します。

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 TEL0463(61)4100

### ● 関の首長囃子（青山神社例大祭）

期 日：8月2日（金曜日、宵宮）、3日（土曜日）～ 8月4日（日曜日）  
神輿渡御（3日午後）、山車巡幸（3日午後）、奉納演芸（4日）

場 所：青山神社（相模原市緑区青山1013）、関地区内

交通：JR横浜線・JR相模線・京王相模原線「橋本駅」北口から2番のりば  
「鳥居原ふれあいの館」行き「関」下車すぐ、または1番のりば「三ヶ木」  
行き終点下車、1番のりば「半原」行き「関」下車すぐ

内容：関の囃子ともいわれ、明治初期に多摩の小曾木村黒沢（現青梅市黒沢）の柳川長吉により伝えられた。昭和44年（1969）に首長囃子関保存会が結成され現在に至る。曲目は屋台、四丁目、モドキ、子守、インバ、昇殿、古囃子の7曲で、太鼓、笛、鉦の構成である。例祭では町内を巡行する山車の上で獅子・狐踊りやヒョットコ・オカメなどの面をつけた踊りを伴い演奏される。

問合せ：首長囃子関保存会会長（平本英文）042-784-2254

### ● 長徳寺盆踊り

期 日：8月3日（土曜日）18時頃～

場 所：長徳寺（相模原市緑区大島756）

交通：JR横浜線「橋本駅」南口下車、上大島行きバスで、終点「上大島」下車、徒歩約10分

内容：長徳寺盆踊りは、お寺の境内で住職が般若心経を唱えた後、踊りが始まるのが特徴です。この盆踊りは不況に苦しむ昭和初期に、当時の長徳寺住職が地域住民を励ますため誕生したもので、「長徳寺盆唄」、「大沢興進歌」がその中心です。いくたびかの中断、再開を経て平成2年より毎年8月上旬に開催され、現在では上大島の大きな行事になっています。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

### ● お馬流し（C）

期 日：8月3日（土曜日）「本牧神社例祭」「お馬迎え式」

8月4日（日曜日）「お馬送り式」「お馬流し」

場 所：本牧神社（横浜市中区本牧和田19）及び本牧漁港（横浜市中区錦町7）

交通：本牧神社へはJR根岸線「根岸駅」下車、1番乗場よりバス58、99、101系統で「三之谷」下車、少し戻って新本牧公園を右折

本牧神社から本牧漁港へは、「三之谷」から58系統のバスで「小港橋」下車、道をはさんだ反対側の小港橋から26系統のバス「シンボルタワー行き」で「港湾カレッジ」下車すぐ

内 容：お馬流しは、茅で作った体長約1mの馬首亀体のお馬さまに、本牧中のあらゆる災厄を託し、本牧の沖合約5kmの海上に流し去る行事で、1566（永禄9）年から450年以上も続いています。お馬流しは土曜日、午前9時にお馬作りの家・羽鳥家より「お馬出し」、9時30分に本牧神社の大鳥居から社殿に「お馬迎え」、10時から例祭を斎行します。日曜日は午前8時に本牧神社社殿で「お馬送り式」、8時30分に社殿から「お馬さま」を送り出し、9時に奉戴車にて神社鳥居前を出発し、本牧の各町を車列にて巡幸供奉して本牧漁港へ、10時30分本牧漁港から出船、11時東京湾海上で「お馬流し」を行います。

問合せ：本牧神社 Tel045(621)7611

### ● 新田名音頭

期 日：8月3日（土曜日）・4日（日曜日）19時30分頃～

場 所：田名中学校校庭（相模原市中央区田名5091-1）

交 通：JR横浜線「相模原駅」下車、南口からバス「水郷田名」「水郷田名、半原」行き「上田名」下車、徒歩約3分

内 容：新田名音頭は、かつて大山道の渡し場と鮎漁で賑わった水郷田名の情緒あふれる歌詞が盛り込まれた音頭です。田名の各地区で踊りの講習会が開催され、田名ふるさと祭りには、新田名音頭ほか数曲が盛大に踊られます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 Tel042(769)8371

### ● 小向の獅子舞（C）

期 日：宵宮 8月3日（土曜日）小向会館 18時～、  
例祭 8月4日（日曜日）八幡大神 10時～、小向会館 20時～

場 所：小向会館（川崎市幸区小向町17-2）、八幡大神（川崎市幸区小向西町3-28）

交 通：小向会館 JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、川崎駅ラゾーナ広場82番乗り場より東急バス「川31系統、川32系統、川33系統」（溝の口、川崎営業所、市民ミュージアム行き）、「妙光寺前」下車、徒歩3分

八幡大神 JR東海道線・京浜東北線・南武線「川崎駅」下車、川崎駅ラゾーナ広場82番乗り場より東急バス「川31系統、川32系統、川33系統」（溝の口、川崎営業所、市民ミュージアム行き）、「東芝前」下車、徒歩2分

内 容：一人立獅子舞。享保年間（1716～36）に、この地の旧家高橋七兵衛宅から出家した僧、顕妙院日義上人が伝えたといわれます。9月18日、19日の八幡大神（幸区小向）の例祭に舞われていましたが、雨が多いので最近では原則として8月第1日曜日に舞われています。

宵宮では、練り込みといって行列が町内をめぐる。練り込みは大太鼓を載せた台車を子どもたちが引き、それに続いてささらを摺る少女が続き、榊を持ち三宝を持った長老・弓張提灯が続きます。途中、氏子の人々が三宝に賽銭を入れたりしますが、先導者は賽銭を出した人々を祓います。次に仲立2人、大獅子・女獅子・中獅子、笛数名、最後に弓張提灯の2人が付きます。練り込みでは

「道行の曲」を奏します。囃子は太鼓・笛・ささらで、獅子は胸に付けた羯鼓を打ちます。

舞は「いりはの舞」「岡崎の舞」奏があり、どちらかを舞います。獅子舞は、女獅子隠しで獅子は肘を張り、体を左右に動かし、手を激しく振り、中腰で浮き沈み、飛び跳ね、激しく舞います。三匹獅子舞に太鼓が入るのは小向だけです。大きな筒竹の摺りささらをする少女は10人、唄は小唄と長唄があり、小唄の速いテンポに対して、長唄はゆったりとうたわれます。小学低学年の仲立ちから年配の唄まで住民が年齢に関係なく幅広く参加できます。大きな獅子頭、ゆったりと大きな立ち居振る舞いなど小向だけの特徴が多々あります。

問合せ：小向獅子舞保存委員会 TEL090(3699)3946

● **西小磯の七夕**（西小磯東地区）（B）（C）

期 日：8月6日（火曜日）～8月7日（水曜日）

場 所：大磯町西小磯東・西小磯東老人憩いの家

交 通：JR東海道線「大磯駅」からバス磯07系 大磯プリンスホテル行、磯13系 西公園前行、大磯駅(循環)行、磯14系 二宮駅北口行又は「平塚駅」からバス平47系 二宮駅南口行「白岩大門」下車、徒歩約3分

内 容：6日は13時頃から、子どもたちが竹飾りを担いで地区内の道祖神・井戸・水神・辻・神社等を巡ってお祓いを行います。老人憩いの家を出発し、地区内を一周し終えたら同施設に戻って休憩を取り、その後もう一周お祓いに廻ります。夕方、竹飾りで竹神輿を作り、担いで地区内を回ります。翌朝、竹神輿を担いで海岸に行き、泳いで沖へ流します。今は泳いで流す役は大人が行っています。

問合せ：大磯町教育委員会教育部生涯学習課 TEL0463(61)4100

● **鳥屋の獅子舞**（C）（E）

期 日：8月10日（土曜日）道行 15時・神社奉納 16時頃～（雨天順延）

場 所：諏訪神社境内（相模原市緑区鳥屋1140）

交 通：JR横浜線・JR相模線、京王線「橋本駅」から「鳥居原ふれあいの館」行きバス（橋07系統）、「鳥屋郵便局前」下車、徒歩約3分

内 容：父・母・子の3頭からなる一人立ち三匹獅子舞で、他にササラを持った子ども3人と笛、唄で構成されます。獅子舞は17世紀後半頃に清真寺の10世円海法印が自ら獅子頭を彫り、武州八王子方面から伝えたといわれます。諏訪神社の例祭に奉納されます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

● **根岸の榊神輿**（E）※今年には本祭りではありませんので神輿は出ない予定です。

期 日：

場 所：根岸町（横浜市中区）及び根岸八幡神社（横浜市磯子区）

交 通：JR 根岸線「根岸駅」下車、徒歩 15 分

内 容：根岸の榊神輿は、根岸八幡神社の例祭に際し、根岸町で三年に一度行われる、榊で制作した神輿を中心とした祭礼行事で、榊祭りとも呼ばれています。

榊神輿の制作は、祭りの五日前から始まり、仕入れた榊を白滝不動の滝壺に一晩浸し、榊の枝を必要な長さに切りながら、2メートル四方、高さ1.6メートル、重さ400kgの四角錐状に神輿を作り上げます。

祭り当日は、趣向を凝らした色とりどりの榊儒袴を着た担ぎ手によって町内を巡行します。かつては根岸町を含む四つの地区が輪番で榊神輿の制作に当たり毎年行われていましたが、戦争で中断、戦後は交通規制で断続的に行われ、昭和六十年に復活しました。他の地域で行われていた同様の祭礼行事が途絶えた今、市内に残る唯一のものです。

問合せ：横浜市教育委員会生涯学習文化財課 Tel045(671)3284

### ● 遠藤ささら踊り (C)

期 日：8月16日（金曜日）13時頃～

場 所：宝泉寺（藤沢市遠藤6094）

交 通：JR東海道線「辻堂駅」北口からバス、綾瀬車庫行き「宝泉寺」下車、徒歩すぐ、又は慶応大学行き「刈込」下車、徒歩約10分、辻堂駅から慶応大学行きは約15分間隔で運行されています。

内 容：宝泉寺の境内でささら踊りを踊ります。（天候などによっては、建物の中で行うことがあります。）遠藤ささら踊りは輪踊りで、数人が太鼓、3人に1人くらいの割合でささらを持ち、残りは手拍子で、あげ手のうたう唄に続いて一同がうたい踊ります。平成20年に「相模のささら踊り」として県の無形民俗文化財に指定されました。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(25)1111（内線）5313

### ● 箱根強羅の大文字焼き

期 日：8月16日（金曜日）19時30分～20時10分

※雨天の場合は18日（日曜日）に延期

場 所：強羅全域（箱根町）

交 通：箱根登山鉄道「強羅駅」下車

内 容：大正10年（1921年）に避暑客への慰安と、有縁無縁の霊を慰めるうら盆の送り火を兼ねて始められました。明星ヶ岳中腹に大きな「大」の字が炎で描かれます。当日は花火もあわせて打ち上げられます。

問合せ：箱根強羅観光協会 Tel0460(82)2300

### ● 三戸のオショロ（お精霊）流し (A)

期 日：8月16日（金曜日）6時頃より船を作り始め、8時に船を流す（送る）。

場 所：三戸海岸（三浦市初声町）

交 通：京浜急行線「三崎口」下車、徒歩約20分

内 容：三戸ではお盆にお迎えした精霊（オショロ様）を西方浄土に送るため、4m程の麦わら船を作り、花飾りや御幣、施餓鬼旗を立て、そこに麦わらを円筒型に束ね、色紙で着飾ったオショロ様や供物を乗せます。僧侶の読経後、8時に、セイトッコと呼ばれる少年達によって、泳いで沖に引かれていきます。そして、地区の人達がオショロ船を見送ります。

問合せ：三浦市役所市民部文化スポーツ課 TEL046(882)1111(内線)412

● **鶴沼皇大神宮人形山車・湯華神楽 (E) (鶴沼皇大神宮例大祭)**

期 日：8月17日(土曜日)12時頃～16時頃

場 所：鶴沼皇大神宮(藤沢市鶴沼神明2-11-5)

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口からバス、上村(かむら)経由高山車庫、辻堂駅行き「鳥森公園前」下車、徒歩約1分、又は神明町経由高山車庫行き、茅ヶ崎駅北口行き「神明町」下車、徒歩約3分。神明町経由の方が本数は多いです。

内 容：人形山車(藤沢市指定有形民俗文化財)は例祭日の8月17日に曳行されます。当日は神社から300mほど離れた路上で、9台の人形山車が組み立てられ、その後、山車の上では子供たちによるお囃子が奏でられます。15時～16時頃、神社境内まで引かれて行き、お囃子の鳴らし合いが行われ祭礼は終わります。山車が神社に到着するまでの間に、神社拝殿では神事が行われ、式典の中で十二座からなる湯華神楽(藤沢市指定無形民俗文化財・皇大神宮では湯立神楽を湯華神楽と称しています)が奉納されます。湯華神楽は16時頃からを予定しています。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(25)1111(内線)5313  
鶴沼皇大神宮 TEL0466(24)5590

● **相原八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納 (E) ※未定**

期 日：8月18日(日曜日)11時～12時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：相原八幡宮「拝殿」(相模原市緑区相原町6-5-26)

交 通：JR横浜線 相原駅から西約1.5kmの住宅街にあります。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」(11時神事開始)神前舞「奉幣之舞・相生之舞」奉納

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中(代表)垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● **相原八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納 (E) ※未定**

期 日：8月18日(日曜日)13時～14時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：相原諏訪神社「拝殿」(町田市相原町1743)

交 通：JR横浜線 相原駅から約390m、徒歩約9分。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」(13時神事開始)神前舞「奉幣之舞・相生之舞」奉納

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中(代表)垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● **下山口神明社例大祭・鎌倉神楽**

期 日：8月18日(日曜日)11時

場 所：下山口神明社(葉山町下山口1455)

交 通：JR横須賀線「逗子駅」、又は京浜急行「新逗子駅」よりバス、葉山、長井方面

行き「葉山」下車

内 容：葉山御用邸前に鎮座する下山口神明社の例大祭にて鎌倉神楽が奉納されます。

問合せ：森戸大明神社務所 TEL046(875)2681 <http://www.moritojinja.com/>

### ● 世計り神事（E）（森山神社例大祭）

期 日：8月24日（土曜日）宵宮（世計り）

8月25日（日曜日）本祭（お水取り）

場 所：森山神社（葉山町一色2165）

交 通：JR横須賀線「逗子駅」、又は京浜急行「新逗子駅」よりバス、山手回り葉山、長井方面行き「旧役場前」下車すぐ

内 容：世計り神事の内容については、森山社HP (<https://moriyamasha.jimdo.com/>) に詳しく記載されています。森山神社の例大祭で行われる世計り神事は、300年以上前から行われている古い神事です。また、粥を使う作占いは各地にあります。水による作占いは大変に珍しいものです。

問合せ：森戸大明神社務所 TEL046(875)6097 <http://www.moritojinja.com/>

### ● 大島諏訪明神の獅子舞（C）（E）

期 日：8月25日（日曜日）道行14時頃～、境内奉納15時頃～

場 所：大島諏訪明神（相模原市緑区大島594）

交 通：(1) JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「上大島」行きバス（橋33・3系統）終点下車、徒歩約10分

(2) JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「相模川自然の村」行きバス（橋30系統・市コミュニティバス）、「溪松園前」下車、徒歩約15分

内 容：この獅子舞は、文化文政年間に奥多摩から伝えられたといわれる1人立ちの3匹獅子舞で、剣獅子・巻獅子・雌獅子・赤鬼が笛と唄の伴奏に合わせて踊ります。その他先導役の天狗が団扇を持って周囲を歩き、道化役の岡崎が滑稽な姿でササラを擦り笑わせます。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

### ● 西富ばやし（E）（大鋸諏訪神社例大祭）

期 日：8月25日（日曜日）例大祭、8月27日（火曜日）神幸祭、26日は行事なし

場 所：諏訪神社（藤沢市大鋸3-7-2）、

神輿渡御、屋台巡幸は遊行寺、遊行通り、藤沢駅周辺

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：諏訪神社例祭で演奏される鎌倉ばやしの系統で、藤沢市内でも最も優れた型を残している囃子のひとつです。構成は、大太鼓1・すり鉦1・笛1で、総リードは鉦が行います。曲目は、「ショウデン」「カマクラ」「シチョウメ」「シンバヤシ」「ランビョウシ」で、獅子・ひょっこ・おかめ・道化人などのお面をつけた踊りが入ります。25日は10時に神社を出立、遊行寺に向かいます。遊行寺境内到着後、10時30分より祭典と神楽が奉納されます。27日の神輿渡御では9時30分、遊行寺境内を出発し夕刻、遊行寺境内に神輿が戻ります。屋台による町内巡幸

の当日は御旅所にて神樂が行われます。神輿渡御、屋台巡幸の時間と経路など、行事の詳細は期日が近くなってからお問い合わせください。また、祭礼期間中の日曜日午後に諏訪神社の氏子神輿が藤沢駅周辺を練ります。本年(令和6年)は25日に行われます。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(25)1111 (内線)5313  
諏訪神社 Tel070(2272)7833

### ● 下九沢御嶽神社の獅子舞 (C) (E)

期 日：8月26日(月曜日) 道行14時30分頃～、奉納15時頃～

場 所：下九沢御嶽神社(相模原市緑区下九沢1336)

交 通：(1)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「上溝」行きバス(橋34系統)、「塚場」又は「下九沢」下車、徒歩約10分  
(2)JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「水郷田名」行きバス(橋59系統)、「塚場」又は「下九沢」下車、徒歩約10分

内 容：この獅子舞は、文化文政年間に奥多摩から伝えられたといわれる1人立ちの3匹獅子舞で、剣獅子・女(玉)獅子・巻獅子・岡崎の4人で構成され、ほかに2人の花笠(ササラ)がつきます。舞は、笛と唄の伴奏に合わせて行われ、首を左右に振り、見栄を切るような動作が多いことと、4人で円を描くように舞う独特の足さばきに特徴があります。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 Tel042(769)8371

### ● 大山阿夫利神社の倭舞・巫女舞 (C)

期 日：8月28日(水曜日) 10時30分頃～(予定) ※詳細は別途ご確認ください。

場 所：大山阿夫利神社社務局行在所内(伊勢原市大山355)

交 通：小田急線「伊勢原駅」よりバス「大山ケーブル」行き「社務局入口」下車すぐ

内 容：倭舞と巫子舞は、共に奈良の春日大社から伝授された大山阿夫利神社の神楽舞です。倭舞は、青摺衣(あおすりころも)に巻纓冠(けんえいかん)をつけた少年が4人で舞う倭舞と、一人で舞う六位舞があります。巫子舞は、赤袴に花のかざしを付け、五色の布を垂らした扇や鈴を持った六人の少女が舞う巫子舞と一人で舞う白拍子があります。継承されている倭舞は11曲、巫子舞は9曲あり、当日はそのうちの4曲を舞います。

問合せ：大山阿夫利神社社務局 Tel0463(95)2006

### ● 葛原ささら踊り (C) (葛原皇子大神例大祭)

期 日：8月31日(土曜日) 宵宮の夕方開始予定 9月1日(日曜日) 本祭

場 所：皇子大神境内(藤沢市葛原1382)

交 通：小田急線「長後駅」西口、又は「湘南台駅」西口からバス、葛原経由吉岡工業団地行き「宮下」下車すぐ

内 容：葛原ささら踊りは、皇子大神祭礼の前夜祭(宵宮)に参加します。平成20年に「相模のささら踊り」として県の無形民俗文化財に指定されました。翌日曜日の本祭は、午前9時頃から午後8時頃まで、子ども神輿、大人神輿の順に列になって県道を練り歩きます。宮入りすると神楽殿で演芸などの催しが行われます。なお、



現地から湘南台駅行き最終バスの時刻は土曜日、日曜日とも20時24分です。帰路にご注意ください。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(25)1111 (内線)5313  
五社神社 TEL0467(77)5310

## 〈9月〉

### ● 汐祭り (予定) ※直前にご確認ください。

期 日：9月1日(日曜日) 11:30頃～

場 所：野島・金沢漁港(横浜市金沢区海の公園9)

交 通：シーサイドライン「野島公園駅」または「海の公園南口」下車、徒歩約5分

内 容：汐祭は毎年9月1日に行われ、豊漁と漁の安全を祈ると共に、漁で亡くなった人を供養するお祭りです。当日は野島の鎮守である野島稲荷神社で大漁丸に御霊を移します。そのときに宮司さんが作った御幣を大漁丸に立てます。御霊移しの際は獲れた魚を供えます。終わると境内に合祀されている船玉様に一礼し、金沢漁港へ向かいます。金沢漁港では、大漁丸を飾りながら祝宴を行います。午後になると東京湾に繰り出します。汐祭は決まった祭り船はなく、大漁丸を乗せる船囃子を乗せる囃子船、随行する漁船が7～8隻あり、神船を先頭に、金沢漁港から一列になり出て行きます。大漁丸を流すのは夏島沖です。お馬流しや祇園舟のように、神船は取り舵を取って左回りで舷側から大漁丸を流します。神船を先頭とする船列は、大漁丸を囲むように左回りで3周します。そのあと、随行の漁船が大漁丸に波をかぶせるように近づき、大漁丸をひっくり返し、漁港へと戻ります。始まったのは明治になってからと伝えられています。大漁丸が身代わりとしてひっくり返ることで、船の海上安全が保たれています。

問合せ：横浜市漁業協同組合金沢支所 TEL045(781)8929

(参考) <https://yokohama-kanazawakanko.com/2023/06/01/202306event303/>

### ● 田名八幡宮の獅子舞 (E)

期 日：9月1日(日曜日) 17時頃～

場 所：田名八幡宮(相模原市中央区水郷田名1-8-28)

交 通：(1)JR横浜線「橋本駅」「相模原駅」「淵野辺駅」から水郷田名行きバス、  
終点下車、徒歩約5分

(2)JR相模線「上溝駅」から水郷田名行きバス、終点下車、徒歩約5分

内 容：この獅子舞は、慶安年間に伝えられたといわれる1人立ち3匹獅子舞で、男獅子・女獅子・子獅子・バンバの4人で構成され、他に先導役の天狗、2人の花笠(ささら)がつきます。途中で母獅子が隠れるいわゆる「女獅子隠し」があります。この獅子舞は、長い間中断していましたが、昭和49年に地域の人々の努力により復活しました。

問合せ：相模原市教育委員会文化財保護課 TEL042(769)8371

### ● 栗原神社祭礼

期 日：調整中 \*詳細はご確認下さい。

場 所：栗原神社（座間市栗原中央4丁目）  
交 通：相模鉄道線「さがみ野駅」からバス「座間駅」行き「栗原神社前」下車すぐ  
内 容：調整中  
問合せ：座間市教育委員会生涯学習課 Tel046(252)8431

● **薬王院双盤念仏**（E）

期 日：9月7日（土曜日）～9月8日（日曜日）  
場 所：薬王院（大和市上和田2710）  
交 通：小田急線「高座渋谷駅」下車、徒歩約20分  
内 容：双盤念仏は、双盤鉦という鉦を叩きながら引声の念仏を唱えるものです。  
鎌倉光明寺から伝えられたものといわれており、現存する鉦の銘から享保元年（1716）には既に行われていた事が分かっています。9月8日の薬王院の縁日とその前日に行われます。7日は13時から20時の間に、8日は10時から20時の間に複数回行われますが、回向は8日の19時から行われる予定です。  
問合せ：大和市役所文化スポーツ部文化振興課 市史・文化財係 Tel046(260)5225

● **葉山森戸大明神例大祭・湯立神楽**

期 日：9月7日（土曜日）宵宮、9月8日（日曜日）例大祭  
場 所：森戸大明神（葉山町）  
交 通：JR横須賀線「逗子駅」下車、③番バス乗り場から葉山一色行き（海岸回り）約15分「森戸神社」下車すぐ、京浜急行「新逗子駅」からバス、葉山一色行き（海岸回り）約15分「森戸神社」下車すぐ  
内 容：森戸大明神秋季例祭にて鎌倉神楽が奉納されます。6月に同神社で執り行われる潮神楽と同様のものです。  
問合せ：森戸大明神社務所 Tel046(875)6097 <http://www.moritojinja.com/>

● **川名屋台ばやし**（E）（**川名御霊神社例大祭**）

期 日：9月7日（土曜日）宵宮15時30分～20時30分（町内巡行）  
9月8日（日曜日）本祭10時～  
場 所：御霊神社（藤沢市川名656）  
交 通：JR東海道線「藤沢駅」南口からバス、手広、鎌倉方面行き「御霊神社」下車、徒歩3分  
内 容：川名御霊神社の祭礼の時に奉納されるもので、鎌倉ばやしの系統になります。山車の屋台でたたくテンポのはやい囃子で、構成は大太鼓1、小太鼓2、笛1、鉦1の5人です。曲目は「ヤタイバヤシ」「ショウデン」「カンダマル」「カマクラ」「シチヨウメ」「ランビョウシ」の6曲があります。囃子が乗る山車には鎌倉権五郎景政の人形が飾られています。  
問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 Tel0466(25)1111（内線）5313

● **第53回足柄峠笛まつり**（足柄ささら踊保存会による踊り）（B）（C）  
（内山剣舞おどり保存会による踊り）（D）（E）

期 日：9月8日（日曜日）笛まつりは10時30分頃～

場 所：足柄峠広場（静岡県駿東郡小山町古城跡）

交 通：下記の間合せ先に事前にお尋ねください。

内 容：（足柄ささら踊）

江戸時代から明治時代にかけて、少女たちが「盆踊り」として踊っていたものです。明治末期以降は徐々に衰退していきましたが、昭和29年頃、地元婦人会が再興しました。踊りでは竹のビンササラを突き、小太鼓をうち、2本の扇を用います。種類としては扇踊り、手拭踊り、太鼓踊り、丸々踊りがあります。最近では少女でなく成人した人達が、浴衣と木綿帯に赤い腰巻を出して、玉だすきで踊ります。

（内山剣舞おどり）

内山の剣舞おどりは、「忠臣蔵踊り」と「曾我の夜討ち踊り」で、江戸末期頃から伝わる風流踊。語りものに合わせて二人一組になって踊ります。

間合せ：南足柄市商工観光課 TEL0465(74)2111

### ● 宮尾神社例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞奉納（E）※未定

期 日：9月8日（日曜日）13時～14時 ※神事での神前舞のみ奉納

場 所：八王子宫尾神社「拝殿」（八王子市上恩方町2089）TEL042(651)3880

交 通：JR・京王帝都電鉄高尾駅からバス約25分「夕焼け小焼けバス亭」下車、徒歩約10分。車で圏央道八王子西I.Cから約15分。

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

「拝殿」（13時神事開始）神前舞「奉幣之舞・相生之舞」奉納

団体間合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

### ● 極楽寺熊野新宮秋季例祭・鎌倉神楽

期 日：9月9日（月曜日）14時～

場 所：極楽寺熊野新宮（鎌倉市極楽寺2-3-1）

交 通：江ノ電「極楽寺駅」下車

内 容：熊野新宮秋季例祭にて鎌倉神楽が10座奉納されます。

間合せ：御霊神社社務所 TEL※間合せ不可（御霊神社は退会したので、当協会員からの問い合わせは控えて下さい。）

### ● 龍口寺法難会

期 日：9月12日（木曜日）

場 所：龍口寺（藤沢市片瀬3-13-37）

交 通：江ノ電「江ノ島駅」下車、徒歩約3分

内 容：日蓮上人が幕府から迫害を受けたが奇跡が起こり助かったことを偲ぶ行事です。3日間行われますが、12日のぼた餅供養大法要と万灯練供養が中心となります。ぼた餅供養大法要（御難ぼた餅撒き）は12日の18時と13日午前0時、万灯練り供養は19時頃からの開始となります。行事の正式な日程や内容は8月に御確認下さい。

間合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(25)1111（内線）5313

龍口寺寺務所 Tel.0466(25)7357

● **お三の宮祭礼**

期 日：9月13日（金曜日）～9月15日（日曜日）※詳細時間をご確認ください。

9月14日（土曜日）神社大神輿の巡行

9月15日（日曜日）町内神輿連合渡御

場 所：お三の宮日枝神社（横浜市南区山王町 5-32）

南区山王町～中区伊勢佐木町通り周辺

交 通：横浜市営地下鉄線「吉野町駅」下車、徒歩約3分または、京浜急行線「南太田駅」  
下車、徒歩5分

内 容：御鎮座350年を迎え、大神輿による氏子内御巡行、大小40基に及ぶ町内神輿連合  
渡御が盛大に行われます。芸能につきましては、日時は未定となっています。  
詳細は直前にご確認頂けますようお願い致します。

問合せ：お三の宮日枝神社 Tel.045(261)6902

<http://www.osannomiya-hie.or.jp>

● **熊野神社祭礼 厚木ばやし保存会** ※直前にご確認ください。

期 日：9月14日（土曜日）19時～21時

場 所：熊野神社「境内」（厚木市旭町3-14）

交 通：小田急小田原線「本厚木駅」下車、東口より徒歩約10分

内 容：神社前にて太鼓演奏

問合せ：酒井 Tel.046(228)2877

● **菅の獅子舞** (C)

期 日：子之神社 9月14日（土曜日）16時～、菅薬師堂 9月15日（日曜日）14時～

場 所：子之神社（菅北浦5-4-1）、菅薬師堂（川崎市多摩区菅北浦4-16-2）

交 通：JR 南武線「稲田堤」下車、徒歩約6分

内 容：五穀豊穰、疫病退散を願って鎌倉時代から地元に伝わる神奈川県指定無形民俗  
文化財で、菅薬師奉賛会と菅獅子舞保存会の手で守り伝えられています。

川崎市多摩区菅北浦の薬師堂で毎年、雄獅子、雌獅子、白獅子の3頭と天狗によ  
る1人立3頭形式で笛と太鼓に合わせて勇壮な舞いがくり広げられます。

前日14日16時には子之神社で舞が奉納されます。

問合せ：菅薬師奉賛会 Tel.044(944)2258

● **三溪園「観月会」 横浜雅楽会 管絃と舞楽** (未定) ※直前にご確認ください。

期 日：未定

場 所：三溪園（横浜市中区本牧三之谷58-1）

交 通：JR根岸線「根岸駅」下車、1番のりば市バス（58・99・101系統）約10分「本牧」  
下車、徒歩10分

JR、京浜急行、市営地下鉄、相鉄「横浜駅」下車、東口2番のりば市バス  
（8・148系統）約35分「三溪園入口」下車、徒歩5分

JR根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」下車、2番のりば市バス

(8・148系統) 約25分「三溪園入口」下車、徒歩5分  
みなとみらい線「元町・中華街駅」下車、4番出口そば山下町バス停より市バス  
(8・148系統) 約15分「三溪園入口」下車、徒歩5分

内 容：未定

問合せ：三溪園保勝会 TEL045(621)0634

### ● 踊り念仏・薄念仏会 (秋季開山忌)

期 日：9月14日(土曜日)(秋の開山忌 9月14日～15日)

場 所：清浄光寺(遊行寺)(藤沢市西富1-8-1)

交 通：JR東海道線「藤沢駅」北口下車、徒歩約15分、又は「藤沢駅」北口からバス、  
原宿、戸塚方面行き「藤沢橋」下車すぐ

内 容：清浄光寺(遊行寺)の春、秋の開山忌に行われます。秋の開山忌は9月14日～15日です。踊り念仏の一つである薄念仏と保存会による踊り念仏は14日を予定しておりますが、正式な日程は未定です。開山忌が近くなりましたら、遊行寺の公式ホームページにてご確認ください。遊行寺踊り念仏は、白い装束で20名前後の女性が四角く並び、中央に太鼓2名に鉦が5人、残りは教本を持って念仏を唱えながら踊ります。一時中絶していましたが、昭和50年に信州佐久の踊り念仏を参考に復活しました。

問合せ：藤沢市生涯学習部郷土歴史課 TEL0466(25)1111(内線)5313

清浄光寺(遊行寺) 寺務所 TEL0466(22)2063

### ● 圓蔵祭囃子 (E)

期 日：9月14日(土曜日) 宵宮 19時～

9月15日(日曜日) 本祭 6時御立ち 15時宮入

場 所：円蔵神明大神宮(茅ヶ崎市円蔵2282)

交 通：JR相模線「北茅ヶ崎駅」から徒歩約15分、又は「茅ヶ崎駅」北口からバス、寒川駅南口行き、寒川経由文教大学行き「円蔵」下車、徒歩3分

内 容：伝承によると、懐島大庭景能がこの地に館を構え、戦に勝った祝宴に、御神楽の囃子方の楽人を招き、家臣と共に笛や太鼓で楽しんだお囃子太鼓が村人に伝承され圓蔵祭囃子の基となったと云われています。正確な歴史は不明ですが、明治以前から受け継がれており、戦後多くの祭囃子が絶えていった中、現在まで伝えられ続けています。曲には屋台囃子、宮昇殿、昇殿、神田丸、鎌倉、四丁面、岡崎(ばか踊り)があります。

問合せ：茅ヶ崎市社会教育課文化財保護担当 TEL0467(82)1111

### ● 禰宜舞 (E)

期 日：9月15日(日曜日) 14時頃～

場 所：白幡八幡大神拝殿(川崎市宮前区平4丁目)

交 通：東急田園都市線「宮前平駅」下車、南口1番又は北口4番乗り場より「溝15系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分

東急田園都市線、JR南武線「溝の口駅」下車、南口2番乗り場より「溝16系統」バスにて「白幡八幡前」下車、徒歩3分、南口3番乗り場より「溝17系統・18系

統」バスにて「平」下車、徒歩5分

小田急線、JR南武線「登戸駅」生田緑地口より「登05系統」バスにて「平」下車、徒歩5分

内 容：午後には境内で子供の相撲大会があり、相撲大会と禰宜舞は同時進行です、祭囃子なども奉納されます。詳細は7月21日(日曜日)の「禰宜舞」を参照ください。

問合せ：白幡八幡大神社務所 TEL044(977)5639

● **亀ヶ池八幡宮例大祭 相模里神楽垣澤社中・神前舞と神楽奉納公演 (E)**

期 日：9月15日(日曜日) 10時～18時ごろ ※詳細はご確認下さい。

場 所：亀ヶ池八幡宮「拝殿・神楽殿」(相模原市中央区上溝1678) TEL042(751)1138

交 通：JR相模線「上溝駅」下車、徒歩約15分。又は車で圏央道相模原愛川I.Cより国道129号を八王子、橋本方面へ進み、田名新宿交差点(牛井吉野家)を右折し、突き当りの信号を左折、ちとせ橋を右折し、すぐ左折、道なりに2～3分です。  
(無料駐車場あり、但し台数に限りあり)

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書紀」など、古代日本の神話を題材に、面を付けて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

「拝 殿」(10時神事開始) 神前舞「奉幣之舞・他」奉納

「神楽殿」(15時～18時ごろ)

(演 目) 寿式三番叟付五人囃子・天孫降臨(日向の高千穂の峯)・他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中(代表)垣澤 TEL/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

● **御霊神社の面掛行列 (C) 鎌倉神楽 (E) 天王唄、鎌倉囃子**

期 日：9月18日(水曜日)

場 所：御霊神社(鎌倉市坂ノ下4-9)、鎌倉市坂ノ下町内

交 通：江ノ電「長谷駅」下車、徒歩約3分

内 容：御霊神社の祭礼に行われている面行列です。奈良時代に盛んであった仏教布教のための仮面劇、「伎楽(ぎがく)」の面を用いて演じられます。

伎楽はその後衰退したため、現在伎楽の面を祭礼に用いる例は全国的にほとんどなく、全国的に希少となった「伎楽面風流」を今に伝えるという意味で貴重な文化遺産となっており、県の無形民俗文化財に指定されています。また、当日は境内において鎌倉神楽(湯花神楽)が行われます。なお、御霊神社境内は撮影禁止となっておりますのでご注意ください。

問合せ：御霊神社社務所 TEL※問合せ不可(御霊神社は退会したので、当協会員からの問い合わせは控えて下さい。)

● **山崎北野神社例大祭・鎌倉神楽**

期 日：9月25日(水曜日) 13時～

場 所：山崎北野神社(鎌倉市山崎736)

交 通：湘南モノレール「富士見町駅」下車、又は、「大船駅」東口からバス、梶原、鎌倉山方面行き「山崎」下車

内 容：北野神社例祭にて鎌倉神楽が10座奉納されます。

問合せ：御霊神社社務所 ☎※問合せ不可（御霊神社は退会したので、当協会員からの問い合わせは控えて下さい。）

### ● 四之宮前鳥神社例大祭

（前鳥囃子・麦振舞神事・神輿宮入り神事：E・平塚市、相模人形芝居前鳥座：C）

期 日：9月27日（金曜日）、9月28日（土曜日）

場 所：前鳥神社（平塚市四之宮4-14-26）

交 通：JR東海道線「平塚駅」北口よりバス、旧道四之宮經由田村車庫行き、田村經由本厚木駅南口行き、又は小田急線「本厚木駅」南口よりバス、平塚駅行き「前鳥神社前」下車、徒歩約3分

内 容：27日が宵宮、28日が本宮です。宵祭では夜拝殿前に据えられた神輿に御霊が遷された後、神輿を担ぐ白丁20名に力飯として里芋の葉に持った強飯と大根の煮付けに唐辛子を添えたものが供され、これを食べた白丁達により神輿が担ぎ上げられます。これらの神事後、境内神楽殿で前鳥囃子及び里神楽の公演と相模人形芝居の前鳥座の奉納公演が行われます。

翌日の本宮では例大祭祭典に引き続き神輿が区内を渡御。夕刻「下郷」地区の神酒所より神社への還幸渡御があり、神輿が神社の入る際に「神輿宮入神事」が行われる。神輿の「蕨手」に「奠の綱」という白絹の布を結びつけて、これを氏子総代→神職と順次引いて神輿の還御を迎えるもので、祭神の菟道稚郎子命の葬送の様を表すと伝承されているそうです。

問合せ：前鳥神社 ☎0463(55)1195

### ● 熊野神社例大祭 相模里神楽垣澤社中・神楽奉納公演（E）※予定

期 日：9月28日（土曜日）17時30分～21時ごろ ※詳細はご確認下さい。

場 所：熊野神社「神楽殿」（厚木市愛甲2-20-8）☎046(247)2734

交 通：小田急小田原線「愛甲石田駅」下車、徒歩約5分、東名「厚木I.C」から約2km

内 容：里神楽は、「古事記」や「日本書記」など、古代日本の神話を題材に、面をつけて行われる仮面黙劇で、神代神楽と呼ばれる神事芸能です。

（演 目）寿式三番叟付五人囃子・天孫降臨（日向の高千穂の峯）・他

※演目の変更や時間の遅延もあります。

団体問合せ：相模里神楽垣澤社中（代表）垣澤 ☎/Fax046(229)0485

E-mail:info@kakizawa-company.com <https://www.sagami-satokagura.com>

### ● 曾我別所寿獅子舞（宗我神社祭礼）（E）

期 日：9月29日（日曜日）12時頃～

場 所：宗我神社神楽殿（小田原市曾我谷津）

交 通：JR御殿場線「下曾我駅」下車、徒歩約10分

内 容：宗我神社の祭礼にあわせて奉納される獅子舞です。「新編相模国風土記稿」によれば江戸時代には宗我神社の祭礼時に獅子舞があったと記されています。代々、村の長によって伝承され、曾我郷六ヶ村の総鎮守宗我神社への豊年と氏子の無病息災を祈願して奉納されてきました。この獅子舞も昭和期に入り衰退し

始め、戦争中は中断してしまいました。

寿獅子舞は戦中に曾我に疎開していた幫間の桜川茶羅平（ちゃらへい）と歌舞伎役者の桜川梅丸によって、獅子にひょっこ等を絡ませる独特の演出が加えられた獅子舞で、昭和21年春に復活しました。勇壮な獅子の舞とコミカルなひょっこ等の仕草が観衆をひきつけ、飽きさせません。

祭礼では、猿田彦尊の道案内で、活力あふれたお囃子を奏でながら、五基の山車が集まります。各地区から宮下へ山車が集まるのが、11時頃です。山車を飾る龍を中心とした彫り物は、地区ごとに力を入れた見事なものとなっています。

また、笛や鉦などの演奏者が山車の屋根の上で演奏するのも、特徴の一つです。

問合せ：小田原市文化部文化財課 TEL0465(33)1717